

# 経済・金融 フラッシュ

## 米11月ISM製造業指数は 49.5 と3年ぶりの低水準

経済調査部門 主任研究員 土肥原 晋

TEL:03-3512-1835 E-mail: doihara@nli-research.co.jp

米11月ISM製造業指数は49.5と下落、3ヵ月ぶりに50を割り込んだ。同指数の50は製造業の拡大・縮小の分かれ目とされ、製造業の縮小が示された形となった。11月の各構成指数中で注目されるのは受注指数（前月比▲3.9）と雇用指数（同▲3.7）の下落だろう。先行指標的な意味合いを持つ受注指数の下落は、製造業の先行き懸念の強まりを示しているが、中でも期限が迫る「財政の崖」回避への目処が立たないことが、景気の先行きへの懸念を強める主因となっている。

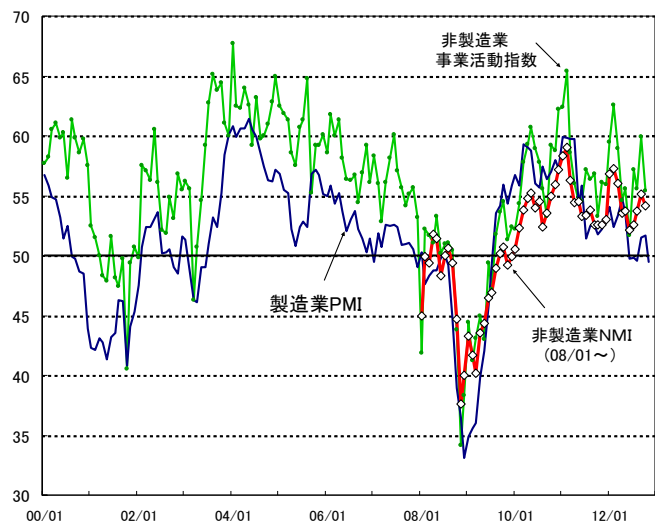
### 1、ISM製造業指数は49.5と予想外の下落で50割れに

企業のセンチメントを示すISM（米供給管理協会）指数は、11月製造業指数（PMI）が49.5と前月（51.7）から▲2.2ポイントの下落、市場予想（51.4）を大きく下回った。同指数の50は製造業の拡大・縮小の分かれ目を示す水準とされ、本年は6月から8月まで50割れを見せた後、9月以降は50台に復帰していた。なお、11月の水準は今年の最低値（8月49.6）を僅かながら下回り、2009年7月（49.2）以来、3年ぶりの低水準となる。

PMIは金融危機後の2008年12月に33.1と近年の最低水準を記録した後、2009年8月に50台を回復、本年6月に50割れとなるまで50台を維持していた。11月は受注・雇用指数が低下、再び50割れとなり、景気先行きへの懸念の大きさを示した。

なお、発表元のISMでは、「過去のデータから見たPMIが示す経済全体の分かれ目（GDPのゼロ成長）は42.6であり、11月PMIは実質GDPの年率2.3%に対応する水準」としている。

（図表1） ISM指数の推移（月別）



（資料） Institute for Supply Management、以下も同じ。

注：11月非製造業指数は12/5発表予定

(各指数別の動向)

## 2、新規受注指数が急落～「財政の崖」による先行き懸念が影響

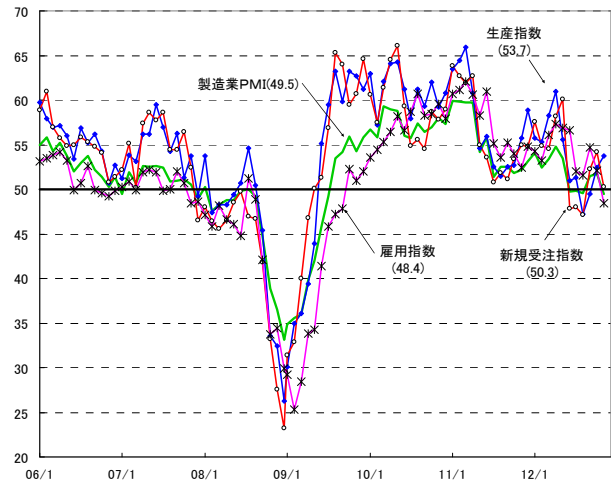
PMIの構成5指数(受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫)の動きを見ると、在庫が45.0(前月比▲5.0ポイント)と最大の下落幅を見せ、次いで新規受注指数が50.3(前月比▲3.9ポイント)と下落、雇用指数が48.4(同▲3.7ポイント)と下落した。半面、その他の2指数は、生産が同1.3ポイント、入荷遅延が同0.7ポイントと上昇した。

生産指数の上昇が現在の事業活動の維持を示す一方、先行指標的な意味合いを持つ新規受注の下落が先行き懸念の強まりを示している。また、雇用指数が2009年9月以来の50を割り込むなど、雇用は手控えられた。なお、企業からの回答には「財政の崖」への懸念を示すものが多く、ISMでも「財政の崖」の不透明さが雇用と投資を抑制しているとし、半面、10月下旬のハリケーンの影響は軽微と見ている。

一方、上記構成指数以外の5指数は、輸入が小幅に上昇(前月比0.5ポイント)したほかは、すべて下落した。中でも下落幅が大きかったのは顧客在庫で42.5と前月比▲6.5ポイントの下落、次は同▲2.5ポイント下落した価格指数でエネルギー価格上昇の一段落が窺える。そのほか輸出が▲1.0ポイント、受注残が▲0.5ポイントの下落、内外景気の減速を反映したものと言えそうだ。

全体的には、先行き不透明感の強まりで受注が鈍化、海外環境が悪化で輸出が減速する中、製造業の企業は、在庫を圧縮し、雇用を手控えている状況が示唆された形である。

(図表2) PMIと主要構成指数の推移(月別)



注：( )内の数値は2012年11月値

(図表3) ISM指数：製造業各指数の推移

	製造業指数																	10→11月 変化幅	
	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		11月
PMI	55.8	51.4	52.5	52.5	51.8	52.2	53.1	54.1	52.4	53.4	54.8	53.5	49.7	49.8	49.6	51.5	51.7	49.5	▲2.2
新規受注	53.6	50.8	51.8	51.1	53.4	55.0	54.8	57.6	54.9	54.5	58.2	60.1	47.8	48.0	47.1	52.3	54.2	50.3	▲3.9
生産	55.9	52.5	51.5	52.5	52.7	55.7	58.9	55.7	55.3	58.3	61.0	55.6	51.0	51.3	47.2	49.5	52.4	53.7	1.3
雇用	61.0	55.1	53.6	55.2	54.0	52.4	54.8	54.3	53.2	56.1	57.3	56.9	56.6	52.0	51.6	54.7	52.1	48.4	▲3.7
入荷遅延	55.2	50.6	51.2	51.6	52.2	51.3	51.5	53.6	49.0	48.0	49.2	48.7	48.9	48.7	49.3	50.3	49.6	50.3	0.7
在庫	53.5	48.0	54.5	52.0	46.5	46.5	45.5	49.5	49.5	50.0	48.5	46.0	44.0	49.0	53.0	50.5	50.0	45.0	▲5.0
顧客在庫	47.0	44.0	46.5	49.0	43.5	50.0	42.5	47.5	46.0	44.5	45.5	43.5	48.5	49.5	49.0	49.5	49.0	42.5	▲6.5
価格	68.0	59.0	55.5	56.0	41.0	45.0	47.5	55.5	61.5	61.0	61.0	47.5	37.0	39.5	54.0	58.0	55.0	52.5	▲2.5
受注残高	49.0	45.0	46.0	41.5	47.5	45.0	48.0	52.5	52.0	52.5	49.5	47.0	44.5	43.0	42.5	44.0	41.5	41.0	▲0.5
輸出	53.5	54.0	50.5	53.5	50.0	52.0	53.0	55.0	59.5	54.0	59.0	53.5	47.5	46.5	47.0	48.5	48.0	47.0	▲1.0
輸入	51.0	53.5	55.5	54.5	49.5	49.0	54.0	52.5	54.0	53.5	53.5	53.5	53.5	50.5	49.0	49.5	47.5	48.0	0.5

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。